合掌会主催　敬老会

上の似顔絵三枚は当日の参加者の似顔絵を二〇分程度で牧野さんが描いたイラストです。

牧野さんの落語・似顔絵

ピエロのクロさん　バルーンアート

令和6年度　長寿番付表　安住寺敬老場所

東	年	住所	蒙御免	西	年	住所
田代ハツコ	106	城山	横綱	阿部ヤエ子	104	弓町
阿部睦子	101	西大内山	大関	井上恵美子	100	東大内山
田辺コウ	99	広島市	同	上美枝子	99	座間市
須賀ミヤ	98	東下司	関脇	原ヨシ子	97	煙硝倉
二宮しん	97	猪尾	同	藤原ヒサ子	97	西大内山
麻生恵美子	96	中平	同	八坂周子	96	杉山
諸富サヨ	95	別府市	小結	渡邊チカ子	96	西下司
河内辰馬	95	新興	同	廣石フサエ	95	宗近
秦エミ子	95	南台	同	藤原常一	95	西大内山
上園ナミ子	94	東大内	前頭1	麻生トキ子	94	藤の川
土谷岩治	94	天満	前頭2	木付幸子	94	大分市
山本治	94	大分市	前頭3	下原正徳	94	東下司
大石勝子	94	魚町	前頭4	綾部昇吉	94	谷町
阿部榮藏	94	大分市	前頭5	是久義則	94	杉山
渡邊健治	94	福岡市	前頭6	矢野エミ子	94	中平
森永政子	94	北浜	前頭7	川上シゲ子	94	宗近
梶取叶	93	別府市	前頭8	阿部久美子	93	大分市
加藤兵馬	93	東下司	前頭9	綾部葉子	93	魚町
藤原洋子	93	西大内	前頭10	中野カズ子	93	西上
渡邊修	92	東下司	前頭11	中村廸子	92	北九州
平野睦	92	南台	前頭12	工藤敦子	92	別府市
阿部佐代子	92	桃山	十両1	厚田幸子	92	本町
藤原郁代	92	行橋市	十両2	麻生頼	92	中尾
土谷豪	92	鎌倉市	十両3	田泓英俊	92	菊本
工藤豊子	92	城山	十両4	田泓静子	92	永代橋
井上チワ子	91	西大内	十両5	寺崎ヤス子	91	守末
藤本仁子	91	北九州	十両6	石堂芳行	91	菊本
松本タズ子	91	別府市	十両7	麻生秀文	91	藤の川
下原延子	91	東下司	十両8	須賀ノブ子	91	須賀

【敬老会ご報告】

九月二十日（金）に合掌会（清末玲子会長）主催による敬老会が開催されました。

本年は執行部役員さんを含め65名の皆さんに参加いただき盛会に開催できました。

開会行事で今年度の敬老物故者に回向し、清末会長の挨拶、敬老者を代表して責任役員の中村文三様のお礼の言葉を頂いた後、千葉県から移住してこられた牧野正史さんの落語に似顔絵。続いて、ピエロのクロさんこと、幸松哲夫さんによるバルーンアートで面白く楽しい時間を過ごしました。

短い時間ではありましたが、執行部の皆様を中心に準備と協力をいただき、和やかな時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

第４回　お寺でコンサート

11月3日（日）　安住寺本堂
10:30開演（10時開場）
※1時間程度　入場無料

ヴァイオリン・フルート・ピアノ
「見上げてごらん夜の星を」
「別れの曲」　etc

【日々是好日】

◈八月二日、杵築市無縁供養法要◈八月三日安住寺山門施食会。本年は午前十一時より一回の法要。法要後に5年ぶりに、お斎を出しました。久しぶりで準備等心配いたしましたが、お手伝いの方々が手際よく無事に終えました。本当に感謝です。六十数名のお参りを頂きました。◈八月四日五日、寺町養徳寺・本庄千光寺の施食会法要に出頭。◈八月八日より棚経。日程時間の都合など調整をしましたが、予定を失念し、ご迷惑をお掛けしました。厳しい暑さでしたが無事に終えました。◈八月二十八日南禅寺派二十四部部内研修会、年内の行事予定・来春の行事計画など確認。◈九月二日、合掌会執行部会・九月六日全役員会を開催。◈九月十九日、安住寺で小僧時代を過ごされた、大分市の山田玄規和尚様が遷化され葬儀に伺いました。◈九月二十日・敬老会開催◈十月に入り涼しい秋を迎えました。皆様には充実した秋をお過ごしいただければと思います。

明玄合掌

【慈悲に三種あり・夢窓国師の説く慈悲】

夢窓国師は1275年に三重県の伊勢に生まれ、1351年10月20日に京都臨川寺で遷化された。鎌倉時代から室町時代に活躍した禅僧で、後醍醐天皇の強い要望で、ご本山南禅寺の住職も務められました。

夢窓国師が足利直義の禅の問いに答えた法語集に『夢中問答』がある。そこで夢窓国師は「慈悲に三種あり」と述べています。そこでは、慈悲を三つの異なる次元や形として分類し、それぞれ慈悲について次のように説いています。以下、その三つの慈悲の要約です。

1. 衆生縁の慈悲（しゅじょうえんのじひ）
これは、すべての衆生（生きとし生けるもの）に対して自然に湧き上がる慈悲の心です。たとえば、目の前で困っている人や動物に対して、自然に手を差し伸べたくなる感情がこれに当たります。この慈悲は、苦しんでいる者を目の前にして、その苦しみを取り除きたいという心から生まれます。これは小乗仏教の慈悲で、自分だけが救われようとする声聞や縁覚の心に比べはるかに優れているが、頼りになる実態があるように考え益を得ようとする目的意識があるので、真実の慈悲とは言えないと説いている。

2. 法縁の慈悲（ほうえんのじひ）
これは、仏法を一切は空であると理解し、すべてのものが因果関係によって成り立っているという仏教の教え（縁起）を理解するものの、幻化をあたかも有実のものと見て慈悲を起こしてしまう。これがすなわち、大乗の立場にある菩薩の慈悲である。しかしすべてを幻のごとく見て慈悲を起こすため、これも真実の慈悲とは言えない。

3. 無縁の慈悲（むえんのじひ）
これは、あらゆる存在を区別せず、すべてに対して平等に向けられる慈悲です。特定の縁や条件によって起こるのではなく、悟りを得た者が自然と持つ無条件の慈悲の心です。すべての存在が本来平等であるという真理を体得し、個別の衆生に対する差別や区別なく、慈悲を向けることがこの無縁の慈悲です。百丈禅師は「小さな功徳や小さな利益を貪ってはならぬ」と言われ、小さな慈悲が大慈悲である無縁の慈悲の妨げになると説く。

夢窓国師は、この三つの慈悲を通じて、仏道を歩む者が持つべき心の姿勢を説いています。「水を掬すれば月手に在り」水を掬えば天辺の月は誰の手にも受け取れ、そこには月の映ろうとする心もなく、水を掬う人に月を映そうとする心もない。自他不二の無心の境地である。最終的には無条件の、あらゆる存在に対する平等な慈悲が理想とされています。

夢窓国師像 臨川寺蔵

禅の心

第188号
令和6年　秋号
発行（年4回）
安住寺
臨済宗南禅寺派
〒873-0002
杵築市大字南杵築379
Tel　0978-62-2680
Fax　0978-62-3980
http://www.anjyuji.net
編集責任　矢野明玄

【月例行事】
★座禅会★
午前6時半～
10月12日（土）
10月26日（土）
11月16日（土）
11月30日（土）
12月14日（土）
★写経会★
午前10時～
10月22日（金）
11月22日（金）
12月13日（金）

日帰りバス旅行　合掌会主催

高千穂の紅葉を楽しみましょう！

令和6年11月18日（月）開催

※定員25～30名　申込締切10月31日

市立図書館前8:00出発＝＝🚌＝＝道の駅すごう10:00（休憩）
＝＝🚌＝＝高千穂峡散策11:20＝＝高千穂（昼食）12:20
＝＝高千穂神社参拝13:30＝＝🚌＝＝天岩戸神社参拝14:10＝＝🚌
＝＝道の駅すごう16:00＝＝🚌＝＝市立図書館前18:00解散

ご家族・お友達を誘って参加しませんか？
安住寺のお檀家さん以外でも参加可能です。
代金を添えお寺にお申し込みください。

旅行代金/1人
10,000円

≪護持会費　墓地管理料　納入のお礼≫

7～8月は、護持会費・墓地管理料の納入をお願いいたしました。市内の皆様には地区御世話人様を通じて、地区外市外の皆様には郵便振替にてお納めいただきましたこと、心より感謝申し上げます。また、お盆の供養料などをお送りいただいた方もございました。
改めて紙面をもちましてお礼申し上げます。今後ともご法愛賜りますようお願い申し上げます。
また、住所変更等ありましたらお知らせください。